



外来通院患者の糖尿病コントロール

<糖尿病とHbA1c>

ヘモグロビンとは、血液の赤血球に含まれているタンパク質の一種で、酸素と結合して酸素を全身に送る役目を果たしています。このヘモグロビンは、血液中のブドウ糖と結合し、ヘモグロビン(Hb)A1c となる性質を持っています。血液検査の結果、このHbA1cの値が高ければ高いほどたくさんのブドウ糖が余分に血液中にあるために、ヘモグロビンと結合してしまったとことがわかります。正常な成人のHbA1c値は6.5%以下。一方、それ以上の数値ですと、高血糖状態が続いていた、ということになります。この数値が、8.4%を超えた状態が長く続きますと、色々な合併症を起こすと言われてています。



<当院の取り組み>

糖尿病患者の病状を安定させるには、適切な食事療法や運動療法の指導および薬物療法の実施が必要です。当院では患者の血液検査のデータから異常値を抽出、糖尿病治療薬使用患者の抽出により、指導が必要な患者をリストアップし、個別の栄養指導や集団糖尿病教室の定期的開催、糖尿病患者会の運営等、積極的な指導の実施に取り組んでいます。

<指標と結果>

本指標では、外来患者の中のA)HbA1c<7.0%:コントロールが良好な患者の割合 と、B) HbA1c<6.5%:正常値の患者の割合をみることで、診療の質を評価しています。

2017年は「コントロールが良好な患者の割合」「正常値の患者の割合」共に増加し、糖尿病患者の管理が適切に行われていると考えます。

